

令和5年度 シラバス

整理番号

F世探究18_C2

教科名	地歴公民 科	科目名	世界史探究		
履修学年	2年 キャリアアップコース	学年	履修	<input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択	単位数 2 単位
使用教科書 副教材等	詳説世界史 (山川出版社)				
学習の目標	世界の歴史を諸資料を活用しながら正確に伝えつつ、地理的条件とも紐づけながら生徒のイメージを膨らませる。その中で現代社会の諸課題と比較しながら考察させることにより、課題解決能力に結びつくような資質を養う。				

●どのような力を、どのレベルまで身につけるのか【目指す能力とその次元】

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価基準	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	歴史的・地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	歴史的・地理的事象に対する関心と問題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。
評価方法	定期試験・課題提出・発問評価	定期試験・発問評価・グループワークにおける表現力評価	課題提出・授業態度・レポート提出・ディベート評価

●いつ、何を学ぶか【学習内容】

学期	学 習 内 容	学習活動・ねらい
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 世界史への旅立ち 東アジア世界 南アジア世界 イスラーム世界 	<ul style="list-style-type: none"> 人類史の大まかな枠組みを把握し、世界史学習への意欲を高めるとともに、初期の文明について理解を深める。 中国をはじめとした東アジア世界への関心を高め、皇帝政治について理解する。 南アジアや東南アジアにおいて各宗教が社会に及ぼした影響を考察する。
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ世界 海域世界の成長とユーラシア 遊牧社会の膨張とユーラシア 地中海海域とユーラシア 	<ul style="list-style-type: none"> ギリシア・ローマの文明がヨーロッパ世界に与えた影響について把握し、その知識を身につける。 ムスリム商人、中国商人の活躍について概要を説明し、世界の興隆について意欲的に探究する。 イタリア商人による東方貿易とイスラーム文明のヨーロッパへの流入に関する資料を活用し、地中海社会について理解を深める。
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 東アジア海域とユーラシア 大航海時代の世界 アジア諸帝国の政治と社会 ヨーロッパ主権国家体制の成立 	<ul style="list-style-type: none"> 元の東西交流と黄海や東シナ海における交易の活性化、琉球王国の交易活動に関する資料を活用し、東アジア海域の交流の様相について考察。 大航海時代のヨーロッパとアメリカ大陸との接触・交流を理解しアメリカ大陸の先住民社会の変貌について知る。 世界の一体化とそれに伴うアフリカ・アメリカの変容について関心を高め、多角的に考察する。